

教職に関する専門教育科目採点基準

1枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
1	(A) 普通教育 (B) 真理 (C) 公共の精神 (D) 職務上知り得た秘密		各3×4
	<p>教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。</p> <p>教育公務員は、任命権者の定めるところにより、現職のまま、長期にわたる研修を受けることができる。</p>	<p>順序は問わない。</p> <p>内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。</p>	各4×2
2	<p>観点別学習状況の評価を適切に行っていくことや、個人内評価を取り入れること。</p> <p>また、指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組ませるパフォーマンス評価などを取り入れ、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくこと。</p> <p>さらに、総合的な評価のみならず、一人一人の学びの多様性に応じて、学習の過程における形成的な評価を行い、子供たちの資質・能力がどのように伸びているかを、例えば、日々の記録やポートフォリオなどを通じて、子供たち自身が把握できるようにしていくこと。</p>	<p>内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。</p>	12
3	(A) インクルーシブ教育システム (B) 通級による指導		各3×2
	<p>学校生活だけでなく家庭生活や地域での生活を含め、長期的な視点に立って幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行うため、家庭や医療機関、福祉施設などの関係機関と連携し、様々な側面からの取組を示した計画。</p>	<p>内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。</p>	6
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域及び生徒の実態に応じて、各種類ごとに、行事及びその内容を重点化すること。 行事間の関連や統合を図るなど精選して実施すること。 幼児、高齢者、障害のある人々などとの触れ合い、自然体験や社会体験などの体験活動を充実すること。 体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。 	<p>2つ書かれていればよい。</p> <p>内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。</p>	各5×2
5	<p>学校いじめ防止基本方針に基づく対応が徹底されることにより、教職員がいじめを抱え込まず、かつ、学校がいじめへの対応が個々の教職員による対応ではなく組織として一貫した対応となる。</p>	<p>順序は問わない。</p> <p>内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。</p>	各5×3
	<p>いじめの発生時における学校の対応をあらかじめ示すことは、児童生徒及びその保護者に対し、児童生徒が学校生活を送る上での安心感を与えたとともに、いじめの加害行為の抑止につながる。</p>		
	<p>加害者への成長支援の観点を基本方針に位置付けることにより、いじめの加害者への支援につながる。</p>		
6	<p>各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。</p>	<p>順序は問わない。</p> <p>内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。</p>	各5×3
	<p>教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。</p>		
	<p>教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。</p>		
7	<p>「主体的な学び」の視点からは、児童生徒が問題意識を持ち、自己を見つめ、道徳的価値を自分自身との関わりで捉え、自己の生き方について考える学習とすることや、各教科で学んだこと、体験したことから道徳的価値に関して考えたことや感じたことを統合させ、自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫することが考えられる。</p>	<p>内容を正しくとらえていけば、表現は異なってもよい。</p>	16